



(様式1)

令和7年10月6日

### 開かれた里山の整備・利用(変更)計画書

長野県長野地域振興局長 様

里山整備利用推進協議会の名称

井上城址さくらの会(協議会)

住所

須坂市大字井上2579番地

代表者 氏名

会長 片山 光一

#### 1. 里山整備利用地域の名称等

名称	須坂市 井上
認定年月日	令和2年4月7日
認定面積	14.86 ha

#### 2. 県民協働による里山の整備・利用事業(一般)の実績及び計画(平成30年度以降)

単位:万円

活用実績・計画	2年度	3年度	4年度	年度	年度	計
里山整備利用地域活動推進事業 (最長3年間:補助率10/10以内)	6	66	47	0	0	118.5
里山資源利活用推進事業 (上限事業費150万円:補助率3/4以内)	0	0	0	0	0	0.0

#### 3. 「開かれた里山」における活動の基本方針

##### (1) 里山整備利用地域における協議会の活動状況

近年、住民の里山への関心が薄れる中、須坂市の里山のシンボリック的役割を果たす「井上城址のさくら」を再整備し、地域の住民や児童をはじめとし、多くの方々に里山への関心を深め、利活用を見直してもらえよう活動を行っている。

毎年、井上地域の中学卒業生による「さくら苗木の植樹」を行っているほか、近年は、同卒業生による「きのこ教室」を開催しているほか、公民館活動の一環として「井上城址さくらの山」が、里山歩きのコースとなっている。

##### (2) 里山整備利用地域の特長

井上城址さくらの会の発足から40年近くにわたって整備を進めてきた「井上城址のさくら」が地域を象徴し、その周りを新炭林の名残りであるクヌギ、ナラ類が占有している状況にある。

そのため、集落に隣接する里山林は、広葉樹が多く占めていることから、放置すると藪化し易く、野生鳥獣の侵入防止及び景観保全上、定期的な除伐・刈払いが不可欠である。

(3) 「開かれた里山」としての整備・利用の方針

ア より多くの県民等が広く親しめる「開かれた里山」づくりの考え方

多くの方が里山に関心を深め、井上城址の桜を親しんでもらうため、里山の整備を行っていく必要がある。

イ 「開かれた里山」における森林整備の方針

多くの方が訪れていただくため、景観整備の観点から、急傾斜地の雑木・藪等の除伐を行い環境を整備し、看板等を設置し、井上城址さくらの山に気軽に足を運んでもらえるような環境を作っていく。

ウ 「開かれた里山」の整備・利用に向けた里山整備利用推進協議会の活動

今まで行ってきた森林整備を継続するとともに、より多くの方が「散策場所」及び「観光資源」等として利用できるよう整備を行う。

また、従来から実施してきた会員による定期的な除間伐作業のほか「中学卒業生による桜苗木の植樹」や「キノコ教室の開催」を継続実施し、開かれた里山として積極的な活動を推進していく。

(4) 「開かれた里山」の対象とする里山整備利用地域の面積及び位置

面積 14.86 ha 位置は別添森林計画図のとおり

4. 「開かれた里山」の整備・利用の全体計画

計画内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
「開かれた里山」における森林整備 計 (ha)						0
(m)						0
花木等の植栽 (ha)				0.1	0.1	0.2
下刈り (ha)						0
修景林間整備 (ha)				0.5	0.5	1.0
竹林整備 (ha)						0
① その他整備 ( ) (ha)						0
② 付帯施設等整備 ( ) (m)						0
「開かれた里山」における 里山整備利用地域活動推進事業 (2年間：補助率10/10以内)	0	0	0	51	43	94.0
整備計画の策定・地域の合意形成等 (万円)						
「開かれた里山」における 里山資源利活用推進事業 (上限事業費100万円：補助率3/4以内)	0	0	0	0	0	0.0
資機材導入等 (万円)						





所在地：須坂市井上  
昭和63年発足  
会員数72名

## 活動状況

### 除伐・獣害対策状況



### キノコ教室の開催としいたけの採取



### 中学卒業生による桜苗木の植樹



### 桜の満開時にはお花見を実施



今後も、より多くの方が「散策場所」「観光資源」等として活用できるよう、開かれた里山として積極的な活動を行って参ります。



開かれた里山の整備・利用（変更）計画書

長野県長野地域振興局長 様

里山整備利用推進協議会の名称

信級きぼうの森

住所

長野市信州新町信級3378番地

代表者 氏名

代表 越山 博

1. 里山整備利用地域の名称等

名称	長野市 信州新町信級里山整備利用地域
認定年月日	令和4年4月11日
認定面積	824 ha

2. 県民協働による里山の整備・利用事業（一般）の実績及び計画（平成30年度以降）

単位：万円

活用実績・計画	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	年度	計
里山整備利用地域活動推進事業 (最長3年間：補助率10/10以内)	150.0	96.6	31.3			277.9
里山資源利活用推進事業 (上限事業費150万円：補助率3/4以内)	150.0					150.0

3. 「開かれた里山」における活動の基本方針

(1) 里山整備利用地域における協議会の活動状況

- ・子ども達に地域の豊かな森林資源を残し、山を利用する技術や知識を伝えることで100年後の地域の未来に「きぼう」を持てる為の取組を行っている。
- ・森林に関心を持ってもらうため、子供を中心とした森林環境教育や自然体験イベント（ツリーハウス製作、ツリークライミング、クラフトワーク体験等）を開催している。
- ・荒廃した地域の森林を、多くの人が気軽に自然を楽しめる様整備すると共に、安全に里山に入れるよう登山道やトレッキングコースの整備を行っている。

(2) 里山整備利用地域の特長

信州ふるさと120山である長者山の登山道や、地域の観光資源である石仏群を巡るトレッキングコースを中心に利用地域を設定し、県民協働による里山の整備・利用事業を活用している。

倒木等で通行できなかった登山道等を整備した事、周辺の森林を整備した事、また利用区域の周知をSNS等で周知した事で地域を訪れる人が増えている。

またワークショップ等を開催することで、利用地域の理解者や整備活動への協力者が増えている。

### (3) 「開かれた里山」としての整備・利用の方針

#### ア より多くの県民等が広く親しめる「開かれた里山」づくりの考え方

登山やウォーキングを中心とした「健康づくり」の目的にプラスして、「森林の中を散策」しながら、「新緑、山菜、紅葉」等山の恵みを満喫出来るエリアを設け県民等が広く森林に親しめるようにする。

「ツリークライミング」「クラフトワーク」「森林環境教育」等のワークショップを開催する「開かれた里山」を整備することで、多様な利用者に森林に興味を持ってもらう「観光資源」とする。

「開かれた里山」として、「チェーンソー作業講習」「刈り払い機作業講習」「薪割り作業講習」を開催し、里山整備活動を行える人材を市内外から集め育成する。

#### イ 「開かれた里山」における森林整備の方針

既存の登山道やトレッキングコースを維持すると共に、古道の復活や、新規ルートの開拓を行う。

荒廃した森林を整備し、「紅葉景観エリア」「キノコ山エリア」「どんぐりエリア」「ツリークライミングエリア」等、散策及び利用できる出来る森林を設ける。

眺望を確保するため、登山道付近及び山頂付近の景観整備を行う。

#### ウ 「開かれた里山」の整備・利用に向けた里山整備利用推進協議会の活動

従前の整備を継続するとともに、より多くの人々が「健康づくり」「レクリエーション」及び「観光資源」等として県民等が広く親しみ利用出来るように森林整備を行う

・「チェーンソー作業講習」「刈り払い機作業講習」「薪割り作業講習」を開催しながら、「紅葉景観エリア」「キノコ山エリア」「どんぐりエリア」等になるモデルケース林を整備していく。

・レクリエーションや健康づくりの拠点整備として、登山道の草刈り・倒木処理・新規ルートの開拓、またツリークライミング等ワークショップを行える森林整備を行う。

・地域の歴史や文化を学ぶ拠点として、地域の観光資源である「四国八十八番石仏群」及び「秩父三十四番石仏群」を巡るトレッキングコースの草刈り・倒木処理及び周辺の森林整備を行う。

・「ツリークライミング」「クラフトワーク」「森林環境教育」等のワークショップを企画・開催し、県内外から多くの人々に来訪してもらう。

・地域の「開かれた里山」を多くの方に利用してもらうため、看板の設置を行う。

・地域の「開かれた里山」を多くの方に知ってもらうためPRパンフレット作成、SNS等での情報発信を行う。

### (4) 「開かれた里山」の対象とする里山整備利用地域の面積及び位置

面積

824 ha

位置は別添森林計画図のとおり

4. 「開かれた里山」の整備・利用の全体計画

計画内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
「開かれた里山」における森林整備 計 (ha)				0.2	0.2	0.4
(m)				7,500	7,500	7,500
花木等の植栽 (ha)						0
下刈り (ha)						0
修景林間整備 (ha)				0.2	0.2	0.4
竹林整備 (ha)						0
① その他整備 ( ) (ha)						0
② 付帯施設等整備 (登山道等整備) (m)				7,500	7,500	15,000
「開かれた里山」における 里山整備利用地域活動推進事業 (2年間：補助率10/10以内)				100	100	200
整備計画の策定・地域の合意形成等 (万円)						
「開かれた里山」における 里山資源利活用推進事業 (上限事業費100万円：補助率3/4以内)				100		100
資機材導入等 (万円)						

5. 「開かれた里山」における活動の広報計画

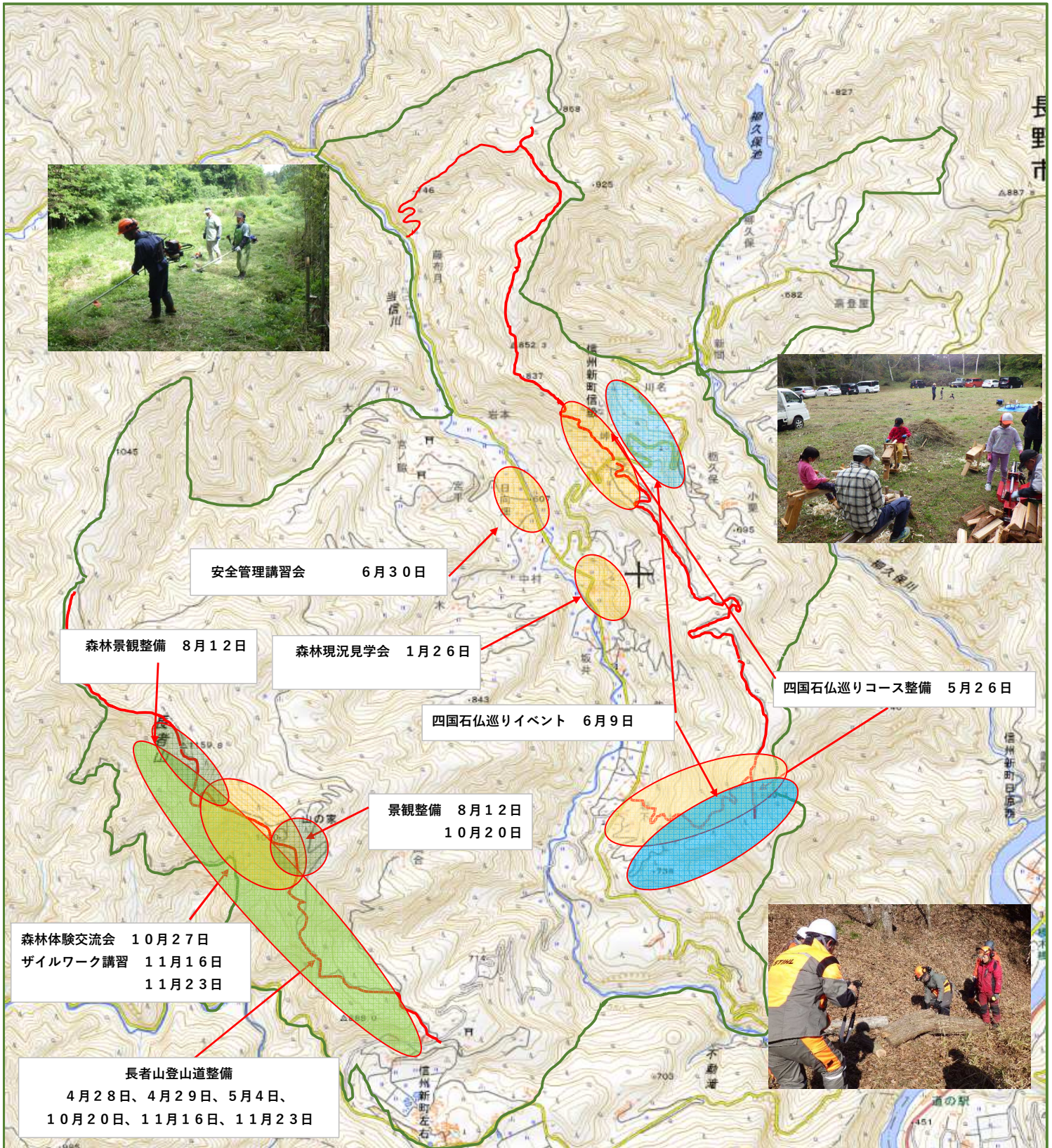
広報活動の計画 (具体的な方法、頻度等)	HP	ナガプロ
	SNS	インスタグラム・フェイスブック
	広報誌等	パンフレット・看板設置

6. 「開かれた里山」における県民等の利活用計画人数 (計画年度から5年後まで)

計画の内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	合計
イベント等による利活用計画人数 (人)	50	55	60	60	65	65	355
イベント以外の利活用計画人数 (人)	100	110	120	130	140	150	750
合計 (人)	150	165	180	190	205	215	1105

# 信級きぼうの森活動概要

## R 6 里山整備利用地域活動実績位置図



凡 例	
	認定区域
	登山道・遊歩道
	体験・環境イベント
	森林景観整備
	森林現況見学会

開かれた里山の整備・利用(変更)計画書

長野県長野地域振興局長 様

里山整備利用推進協議会の名称

七二会森林クラブ

住所

長野市七二会丁1993

代表者 氏名

会長 石坂 和夫

1. 里山整備利用地域の名称等

名称	長野市 七二会 3
認定年月日	令和5年6月6日
認定面積	616.11 ha

2. 県民協働による里山の整備・利用事業(一般)の実績及び計画(平成30年度以降)

単位:万円

活用実績・計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
里山整備利用地域活動推進事業 (最長3年間:補助率10/10以内)	60	31	56	0	0	147.5
里山資源利活用推進事業 (上限事業費100万円:補助率3/4以内)	50	50	13	0	0	112.5

3. 「開かれた里山」における活動の基本方針

(1) 里山整備利用地域における協議会の活動状況

何年も手入れがされずに放置された森林が集落周辺に多く、それらの荒廃森林は高齢級化が進み、森林の持つ公益的機能が失われつつある。

このため「伐って、使って、植えて、育てる」という森林・林業のサイクルを取り戻す必要があり、当協議会では、広葉樹林を伐り萌芽更新を図り、森林の再生に取り組むとともに、伐採木は無駄なく薪に加工し、地域の薪ストーブ愛好家の皆さんからの要望に応え、薪を供給している。

また、近年では、森林資源の有効利用に理解を示し、長野県にふるさと納税を行っている「焼津軽節水産加工業協同組合」からの依頼を受けて、生産材料の一つであるナラ薪の安定供給に取り組んでいる。

(2) 里山整備利用地域の特長

豊かな森林が集落を取り巻く七二会地区にあっては、計画的に森林整備を進めるため、みんなで支える里山整備事業の県民協働による里山整備事業を活用し、活動成果を上げている。

(3) 「開かれた里山」としての整備・利用の方針

ア より多くの県民等が広く親しめる「開かれた里山」づくりの考え方

今までは、薪を作り供給する活動をしてきたが、今後は次の事業を加える。

① 薪ストーブ愛好者(薪の購入者を中心に)に「薪割体験会」を開催し、「薪ストーブ愛好家はSDGs貢献者」であることに理解を深めてもらう。化石燃料から地域の森林資源を活用していることは、地球温暖化防止に貢献していることを改めて知って頂くと共に、森林の多面的機能を知って頂くなど、森林に興味を持ち関心を寄せてもらう。

② 七二会小学校とSaSaLAND(不登校支援)で椎茸の駒打ち体験を開催し、森林の恵をしり身近な森林の大切さに関心を持ってもらう。

③ 森林整備を進めている林内に、見事な福寿草の群生地があり、その場所に通ずる遊歩道整備を行い、一層楽しんでいただくとともに、森林に親しむ空間づくりに取り組む。

イ 「開かれた里山」における森林整備の方針

「伐って、使って、植えて、育てる」という森林・林業のサイクルを取り戻す活動が主体であったが、今後は森林に関心を寄せて頂き森林に親しんで頂くような事業展開を念頭におきながら進める。

ウ 「開かれた里山」の整備・利用に向けた里山整備利用推進協議会の活動

従前の活動を維持しつつ、組織の法人化と森林整備の担い手育成にも取り組む。組織の法人化に向けて「地域おこし協力隊」の募集を行い、人材確保に努める。焼津経節水産加工組合への供給及び支援は、引き続き行う。

(4) 「開かれた里山」の対象とする里山整備利用地域の面積及び位置

面積 616.11 ha 位置は別添森林計画図のとおり

4. 「開かれた里山」の整備・利用の全体計画

計画内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
「開かれた里山」における森林整備 計 (ha)						
(m)	0	0	0	2.0	2.0	4.0
花木等の植栽 (ha)						0
下刈り (ha)						0
修景林間整備 (ha)						0
竹林整備 (ha)						0
① その他整備 ( ) (ha)				2.0	2.0	4.0
② 付帯施設等整備 ( ) (m)						0
「開かれた里山」における 里山整備利用地域活動推進事業 (2年間：補助率10/10以内)	0	0	0	71	70	140.0
整備計画の策定・地域の合意形成等 (万円)						
「開かれた里山」における 里山資源利活用推進事業 (上限事業費100万円：補助率3/4以内)	0	0	0	38	38	75.0
資機材導入等 (万円)						

5. 「開かれた里山」における活動の広報計画

広報活動の計画 (具体的な方法、頻度等)	HP	
	SNS	
	広報誌等	長野市民新聞

6. 「開かれた里山」における県民等の利活用計画人数 (計画年度から5年後まで)

計画の内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	合計
イベント等による利活用計画人数 (人)	15	15	15	15	20	20	100
イベント以外の利活用計画人数 (人)	30	40	40	40	50	50	250
合計 (人)	45	55	55	55	70	70	350

# 七二会森林クラブの活動概要

## 1 焼津経節加工業協同組合と七二会小学校との食育体験学習会



## 2 化石燃料から森林資源への転換（地域への薪供給）



## 3 福寿草の群生地を巡る遊歩道整備



開かれた里山の整備・利用(変更)計画書

長野県長野地域振興局長 様

里山整備利用推進協議会の名称

八幡地区里山整備委員会

住所

千曲市八幡大池7813

代表者 氏名

委員長 佐藤 秀典

1. 里山整備利用地域の名称等

名称	千曲市 猿ヶ馬場峠
認定年月日	令和5年7月3日
認定面積	99.19 ha

2. 県民協働による里山の整備・利用事業(一般)の実績及び計画(平成30年度以降)

単位:万円

活用実績・計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
里山整備利用地域活動推進事業 (最長3年間:補助率10/10以内)	32	31	56	0	0	119.5
里山資源利活用推進事業 (上限事業費100万円:補助率3/4以内)	0	0	0	0	0	0.0

3. 「開かれた里山」における活動の基本方針

(1) 里山整備利用地域における協議会の活動状況

- ・ 設立: 令和5年4月1日 ・ 構成員: 37人(森林所有者31名、地域構成員6名)
- ・ 千曲市の西部に位置し、郡境の峠で景勝地として知られている。冠着山の鞍部を通る善光寺街道がある。その昔はこの難所を松尾芭蕉を始め多くの著名人が通ったと言われており、地域の住民に親しまれ整備維持がされている。
- ・ 周辺の林分は間伐適期を迎え、森林整備を順次進めるとともに、当協議会では、歴史探訪の観光客や地域住民を対象に、この一帯の史蹟旧跡の説明看板や案内板等を設置し安全確保に努めている。

(2) 里山整備利用地域の特長

- ・ 計画地域では、里山の整備のため「みんなで支える里山整備事業」を導入している。
- ・ 善光寺街道を訪ねてくる観光客が安心して往来できることを願い、荒れている管理歩道

(3) 「開かれた里山」としての整備・利用の方針

ア より多くの県民等が広く親しめる「開かれた里山」づくりの考え方

- ① 里山普及啓発活動
  - ・ 里山イベントの開催(街道ウォーク等)
  - ・ 森林環境教育(森林の働き、木工教室)の実施
- ② 里山整備活動
  - ・ 管理歩道の安全確保整備、傷害保険への加入
  - ・ 農家林家の林業技術の習得のための講習会開催
  - ・ 森林組合と連携による間伐を主体とした森林整備活動の実施

イ 「開かれた里山」における森林整備の方針

- ① 間伐推進員による間伐施業委託の啓発
- ② 修景施業の実施

ウ 「開かれた里山」の整備・利用に向けた里山整備利用推進協議会の活動

- ① 管理歩道の刈払い(年2回)実施
- ② 役員会による啓発活動
- ③ 観月祭イベント(街道ウォーク)の主催

(4) 「開かれた里山」の対象とする里山整備利用地域の面積及び位置

面積 99.19 ha 位置は別添森林計画図のとおり

4. 「開かれた里山」の整備・利用の全体計画

計画内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
「開かれた里山」における森林整備 計 (ha)				2.0	2.0	4.0
(m)				3,000	3,000	6,000
花木等の植栽 (ha)						0
下刈り (ha)						0
修景林間整備 (ha)				2.0	2.0	4.0
竹林整備 (ha)						0
① その他整備 ( ) (ha)						0
② 付帯施設等整備 ( ) (m)				3,000.0	3,000.0	6,000
「開かれた里山」における 里山整備利用地域活動推進事業 (2年間：補助率10/10以内)				131	70	201.0
整備計画の策定・地域の合意形成等 (万円)				10	10	20
「開かれた里山」における 里山資源活用推進事業 (上限事業費100万円：補助率3/4以内)				0	0	0.0
資機材導入等 (万円)				0	0	0

5. 「開かれた里山」における活動の広報計画

広報活動の計画 (具体的な方法、頻度等)	HP	
	SNS	
	広報誌等	チラシ (地区回覧 2回)

6. 「開かれた里山」における県民等の利活用計画人数 (計画年度から5年後まで)

計画の内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	合計
イベント等による利活用計画人数 (人)	100	100	100	100	100	100	600
イベント以外の利活用計画人数 (人)	200	300	400	500	500	500	2,400
合計 (人)	300	400	500	600	600	600	3,000

## 開かれた里山整備・利用計画の概要

### 1 計画地域 千曲市「猿ヶ馬場峠」

名 称	千曲市「猿ヶ馬場峠」
整備団体	千曲市八幡地区里山整備委員会
認定年月日	令和5年7月3日
認定面積	99ヘクタール

### 2 「猿ヶ馬場峠」の概要

猿ヶ馬場峠（さるがばんばとうげ）は、千曲市の西部に位置し東筑摩郡麻績村を結ぶ峠で標高は964m、国道403号線が通り「聖湖」を中心とする聖山高原がある。

#### (1) 歴 史

旧北国西街道（別名善光寺西街道）における麻績宿と桑原宿の間にある最難関の峠道とされ、上方からの善光寺への重要な参詣路の一つであった。

武田信玄の命で配下の馬場美濃守によって開発整備されたことと、当時この峠付近にはたくさんの猿が群れをなしていたことによる峠名と云われている。長野盆地と松本盆地を結び当時は物資は勿論のこと、政の道・商いの道・祈りの道として松尾芭蕉など多くの文人俳人、武人らが通行し様々な民話や伝説に彩られている。

### 3 里山整備の経過

県民協働による里山の整備・利用事業の実績 (千円)

区 分	R5	R6	R7	計
里山整備利用地域活動推進事業	320	313	562	1,195
里山資源利活用推進事業				

(休憩用ベンチ・案内看板設置)



(管理歩道整備)



#### 4 開かれた里山整備の方針

##### (1) 里山普及啓発活動

###### ア 里山イベントの開催

街道ウォーク、児童対象森林環境教育

##### (2) 里山整備活動

###### ア 管理歩道（善光寺道）の整備による入山者の安全確保

###### イ 農家林家の林業技術習得講習会の開催

###### ウ 森林整備の施業委託の推進（間伐推進員による長野森林組合搬出間伐委託契約）

###### エ 鉦山跡地（梵天山）の歩道整備、案内・説明看板設置

###### ① 梵天山鉦山跡地

現場は善行寺道の沿線にあり、明治から戦前にかけて勝光山鉦業所により鉄鉦石、白土を採掘していたといわれているが地元民以外にはほとんど知られていない。

戦時中は陸軍の射撃訓練施設があり現在も残骸がある。

治田小学校5年生の地域学習会で現地観察会を行ったが歩道等の整備の必要性を痛感、周辺整備が必要。

